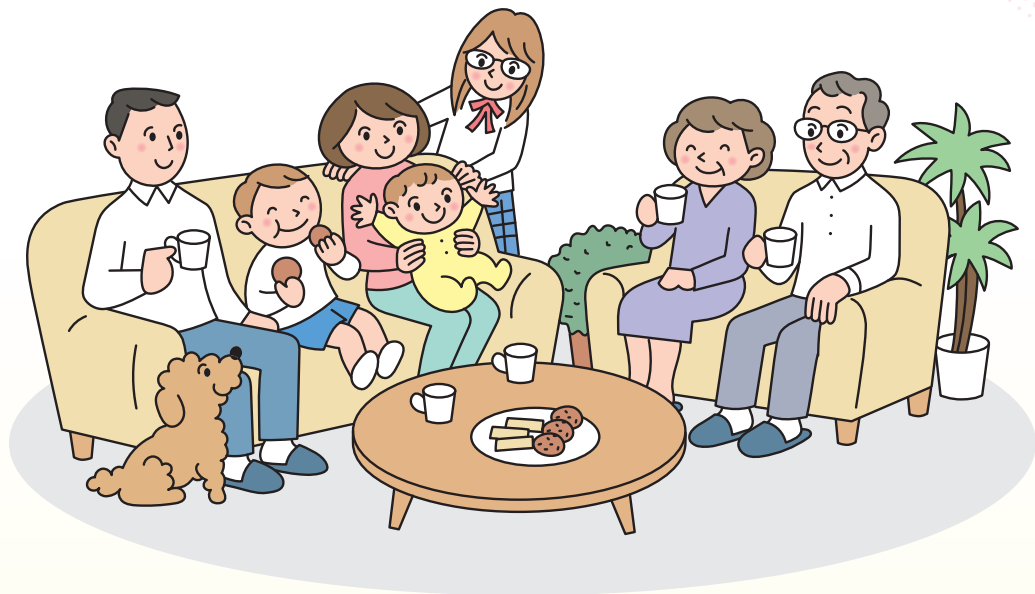



接種しましょう インフルエンザワクチン

2023/24シーズン

監修：武内 可尚 先生
川崎市立川崎病院 名誉院長



 当院でインフルエンザワクチンを接種できます
接種を希望される方は、当院の医療スタッフにご相談ください

医療機関名

予約日 月 日 () 何時でも
 時 分

接種したワクチン 0.5mL 0.25mL Lot No.シール



武田薬品工業株式会社

デンカ株式会社

インフルエンザってどんな病気？

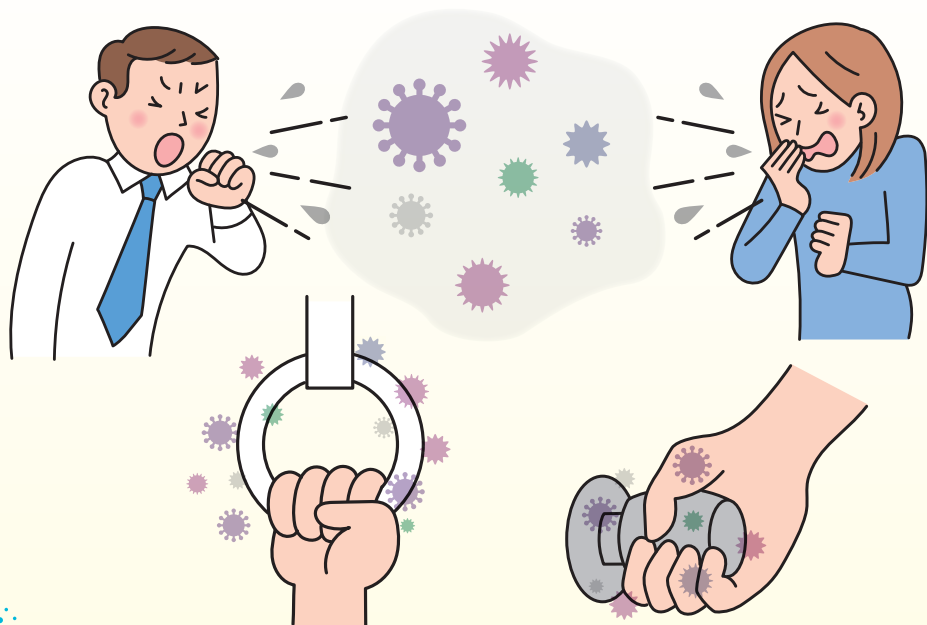
冬になると流行するインフルエンザ。その原因は、通常、A型もしくはB型のインフルエンザウイルス感染によるものです。

ウイルスの感染は、かかっている人のせきやくしゃみでまわりの人にひろがったり(飛沫感染)、ウイルスが付いた手や指を通じて感染したりします(接触感染)。インフルエンザの流行時期(例年12～3月)の人混みは、たくさんのウイルスが空気中をただよっているので、感染リスクが高くなります。

ウイルスに感染してから1～3日(平均2日)後*に、さまざまな症状が現れます。また、症状が現れる24時間前～熱が下がった数日後まで、まわりの人に感染させる可能性があります。

*:潜伏期間

インフルエンザは人から人に感染する力が強く、毎年国民の5～15%の人々がかかっています。また、重症化すると亡くなってしまう場合もあります。

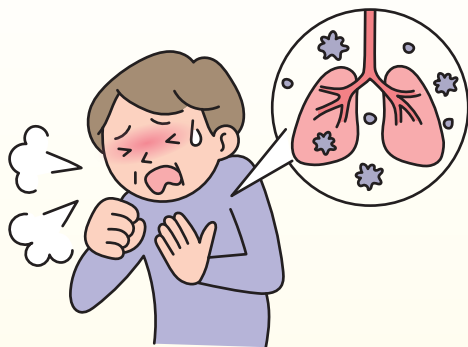


インフルエンザの症状は？

のどの痛み、鼻水、から咳、頭痛、倦怠感、ゾクゾクする寒気などの全身症状を伴って、急に高熱(38~39℃以上)を発します。

関節痛や筋肉痛も伴い、無気力になります。下痢を起こすこともあります。

高熱は2~5日続き、熱が下がっても、体力・気力が回復するには、多くの場合、さらに1週間ほどかかります。



ご高齢の方や体が弱っている人、慢性の病気がある人などでは、重症化しやすく、肺炎を併発することがあります。

また、こどもでは、けいれんや中耳炎などの合併症を起こしたり、さらには、脳炎や脳症といった重い病気に進んでしまうこともあります。

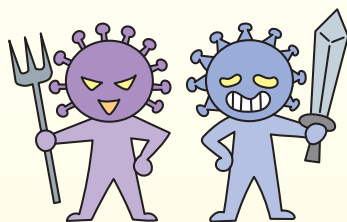
「インフルエンザ」と「かぜ」って なにがちがうの？

病名	インフルエンザ	ふつうのかぜ
原因となるウイルス	インフルエンザウイルス	<ul style="list-style-type: none"> ・ライノウイルス ・ヒトニューモウイルス ・コロナウイルス^{注)} ・パラインフルエンザウイルス ・RSウイルス・アデノウイルス など
潜伏期間	1～3日	1～6日
症状	◎全身症状が強い <ul style="list-style-type: none"> ・急な発熱38～39℃以上 ・悪寒、頭痛、腰痛、筋肉痛などの全身症状 ・鼻水、せき、のどの痛みなどの上気道症状 	◎おもに上気道症状 <ul style="list-style-type: none"> ・発病はゆるやか ・発熱37～38℃台 ・くしゃみ、鼻水、せき、のどの痛み(軽度) など
合併症	<ul style="list-style-type: none"> ・気管支炎 ・肺炎 ・脳症 ・ぜんそく発作 ・中耳炎 など 	少ない <ul style="list-style-type: none"> ・中耳炎 ・副鼻腔炎 など

注) 除・新型コロナウイルス

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)とは どう違うの？

臨床症状のみで、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症(COVID-19)とを区別するのは難しいため、両方の可能性を考慮して、検査や診察をする場合があります。現在わかっているCOVID-19の病態は、潜伏期間が1～14日で、多くの場合感染してから約5日で発症しますが、非常に感染力の強い種類のウイルスだと潜伏期間が数日の場合もあります。一方で、感染しても、2～3割の方は無症状のまま過ごしているとも言われています。



インフルエンザワクチンは なぜ、毎年接種する必要があるの？

その理由の一つは、インフルエンザウイルスが、毎年少しずつ性質を変えているからです。そのため、世界中の専門家が次のシーズンに流行するであろうウイルスのタイプを予測し、その予測に基づきWHOがワクチンの候補となる推奨株を発表します。この発表をふまえて、毎年、それぞれの国で、その年にあったワクチンが検討され、作られます。

●今シーズン(2023/24シーズン)のインフルエンザワクチン 4種類のワクチン株が含まれています(4価ワクチン)

A型株

A/ビクトリア/4897/2022(IVR-238)(H1N1)
A/ダーウィン/9/2021(SAN-010)(H3N2)

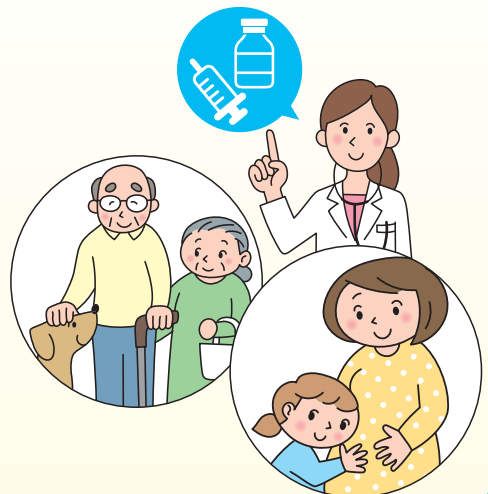
B型株

B/プーケット/3073/2013(山形系統)
B/オーストリア/1359417/2021(BVR-26)(ビクトリア系統)

もう一つの理由は、ワクチンが十分な効果を維持できるのは、接種後約5ヵ月までだからです。

ワクチンを接種していても、インフルエンザにかかってしまうことがあります。受けなかった場合に比べて症状が軽くすむことが多いと言われています。

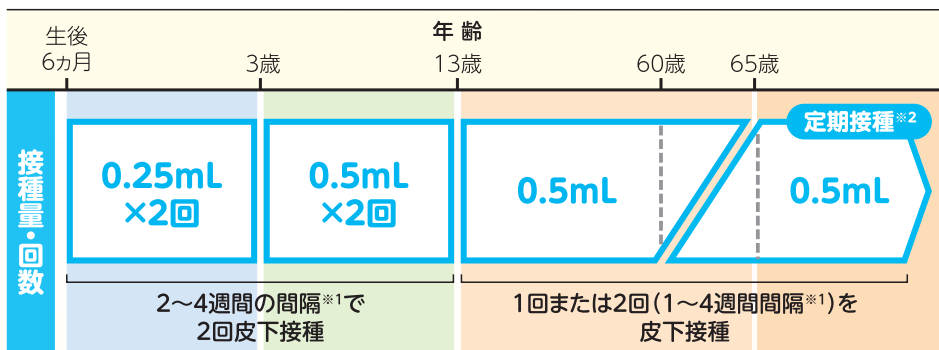
特に重症化しやすいお年寄りや体が弱っている方、慢性の病気を持っている方、小児、妊婦の方には、ワクチンの接種をおすすめします。また、このような方々と一緒に住んでいる方や接する機会の多い方も「インフルエンザをうつさず、守る」という観点から、ワクチン接種が重要です。



インフルエンザワクチンはいつ接種すれば良いの？

- ワクチンが十分な効果を発揮し、維持できる期間は、接種後約2週間～5ヵ月とされています。
一方、インフルエンザの流行は、例年12月頃から始まり、そのピークは1月末～3月上旬に迎えます。これらのことから、
10月～12月中旬までに接種を済ませておくのが理想的です
- 2回接種される方は、2回目の接種が1回目の接種を終えてから4週間おくのが望ましいとされているので、1回目の接種をなるべく早く終えておきましょう。

図 年齢とワクチンの接種量



※1 免疫効果を考慮すると接種間隔は4週間が望まれます。

※2 以下の方は、接種による重症化の予防効果による便益が大きいと考えられていることから、定期接種の対象者とされています

- 65歳以上の方
 - 60～64歳で、心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活を極度に制限される方。
 - 60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方。
- 接種費用は、自治体(市区町村)によって異なります。詳しくは住民票のある自治体にお問い合わせください。

インフルエンザにかかるとを防ごう！
(5つのポイント)

- ① 流行前のインフルエンザワクチンの接種
- ② 外出後の手洗い等
- ③ 適度な湿度の保持
- ④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑤ 人混みや繁華街への外出を控える

厚生労働省、インフルエンザQ&Aより、<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

※多くの人が集まっている場所ではマスクの着用が感染予防に効果的です。
(特に、高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など重症化リスクのある方)

インフルエンザワクチンを接種する前に 特に注意することは？

- ▶ 原則、体調が良い時にワクチン接種を受けましょう。
いつもと体調が違う、なんとなく調子が悪い方は、必ず、接種前に医師に申し出てください。
- ▶ 事前に予診票をよく読んでからワクチンの接種を受けましょう。



- ▶ インフルエンザワクチンはふ化鶏卵でつくられていますので、生卵を食べるとじんましんが出たり、あるいは特定の薬でアレルギー反応を起こしたことがある場合は、ワクチンを接種する前に医師に相談してください。
- ▶ インフルエンザワクチンと他のワクチンとを同時に接種する予定がある場合や、少し経ってから接種する予定がある場合は、ワクチンを接種する前に医師に相談してください。



インフルエンザワクチン接種を受けた後の注意

- ワクチン接種を受けた後、以下の副反応が現れることがあるので注意してください。

特にショックやアナフィラキシーは、接種後30分以内に現れることもあるので、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。

- 接種後に注射部位が赤く腫れたり、硬くなることがあります。
- ときに発熱や頭痛などが現れることがあります。
- まれに以下の副反応が現れることがあります。

ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫等）、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎、ギラン・バレー症候群、けいれん、肝機能障害、黄疸、ぜんそく発作、血小板減少性紫斑病、血小板減少、血管炎（IgA血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、白血球破砕性血管炎等）、間質性肺炎、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、急性汎発性発疹性膿疱症、ネフローゼ症候群

これらは、ワクチン接種により現れる副反応のすべてではありません。ワクチンを接種した後、特に数日間、ご自身の健康や体調の変化に注意し、ふだんと変わったことがあった場合は、医師に相談したり診察を受けてください。

- 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は可能です。
- 接種当日の過激な運動は避けましょう。
- その他ご心配な点がありましたら、医師にご相談ください。



2回目の接種をされる方は
2回目の予約を忘れずに

2回目 予約日	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	(<input type="text"/>)	<input type="checkbox"/> 何時でも
						<input type="checkbox"/> 時 分
接種したワクチン	<input type="checkbox"/> 0.5mL	Lot No.シール				
	<input type="checkbox"/> 0.25mL					